

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 学び合い、認め合い、共に高め合う児童の育成
- 主体的な学びで確かな学力につなげる授業改善の在り方

津乃峰小学校  
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員 校長 外山真寿美 教頭 山中正広 教務主任 西東秀城 研修主任 得野真琴 久米 和美 特別支援コーディネーター 笹田由美 人権教育主事 広瀬直美
---------	--

校長

外山 真寿美

【小中連携または中高連携における共通の取組】

児童・生徒の主体的な学びを展開するため、ICTを積極的に活用した授業実践し、互いに参考となる実践を共有する。

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ 自分の思いや考えを、文章にすることができる。 ● 語彙が少なく、文章や問題を読み取る力が低い。	・ 落ち着いて学校生活をおくり、学習のきまりを守って集中して課題に取り組むことができる。 ・ 要点を押さえて文章や問題を読み取ることができる。	・ 全校体制で「津乃峰小授業のルール」の意識付けを図るとともに、教師間で学校のきまりの共通理解を図り、子供への対応を統一する。 ・ 文章を読み込む時間を確保するとともに、要点を捉えた読み取りのために、アンダーラインや書き込みの入れ方のポイントを押さえた指導を行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ 教師や友達の話をしっかりと聞くことができる。 ● 自分の考えを発表することが苦手である。	・ 自分の思いや意見をしっかりと持ち、相手に伝えることができる。 ・ 互いの意見を出し合い、多様な考えを認め合うことで、みんなでよりよいものを生み出そうとすることができる。	・ 自分の思いや意見をもつための時間を十分にとり、その理由も付けて考えを伝えることができるようにする。 ・ タブレットやホワイトボードなどの技能を高めつつ、効果的に使用し、互いの意見を共有したり練り上げたりする場面を増やす。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ 課題に対し、素直に取り組むことができる。 ● 学習内容や活動状況に合わせて、見通しをもって、主体的に取り組むことが難しい。	・ 主体性をもって、各教科の学習や家庭学習に取り組むことができる。 ・ 自ら疑問や課題をもち、解決しようとする態度が身に付いている。	・ 「家庭学習の手引き」、「自主学習の手引き」の指導を丁寧に行い、学習内容の定着を図るとともに、自発的な学習意欲を伸ばす。 ・ 子供が自ら考えたり行動したりする場面を増やすとともに、そのような場面が見られた時はすかさず評価する。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

